

ブラームストリオ 結成記念

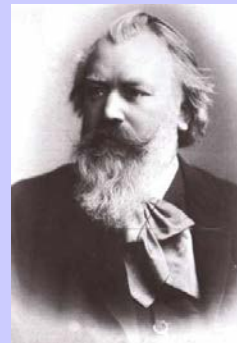
若手演奏家による室内楽研究 No. 2

オール ブラームス プログラム

■ クラリネット三重奏曲 イ短調 Op. 114

■ ピアノ三重奏曲 第2番 ハ長調 Op. 87

■ クラリネット五重奏曲 口短調 Op. 115



< JBSレジデNSTリオ > Vn 田中 晶子 (' 96日本音楽コンクール第1位)
Vc 金子 鈴太郎 (' 99国際ブラームスコンクール第3位)
P 野田 清隆 (' 95日本音楽コンクール第1位)

< ゲスト > Vn 青木 調 (' 95日本国際音楽コンクール第2位)
Va 梅津 美葉 (' 91日本音楽コンクール第1位)

< 特別ゲスト > Cl 鈴木 良昭 (桐朋学園大学教授)

< 解説 > 西原 稔 (ブラームス協会顧問 桐朋学園大学教授)



田中晶子



金子鈴太郎



野田清隆



青木調



梅津美葉



鈴木良昭

2004年6月27日(日) 3pm 開演

一般 ¥ 3500 学生 ¥ 1500 先着 80 名

会場 サロン・ド・サングリエ

JR/水道橋東口下車 丸の内線/本郷三丁目下車
丸の内線/本郷三丁目下車 三田線 水道橋下車
南北線/後楽園下車 各駅下車徒歩8~10分

主催 日本ブラームス協会 TEL 03-3990-0611
HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>



プロフィール

●田中晶子 (Vn) Tanaka Akiko

1974年、広島県に生まれる。5才より桐朋学園「子供のための音楽教室」広島分室に入室、ヴァイオリンを始める。1990年、広島女学院中学校卒業、桐朋女子高等学校音楽科入学。1992年、第46回全日本学生音楽コンクール東京大会ヴァイオリン部門高校の部第2位入賞。1993年桐朋女子高等学校音楽科首席卒業。桐朋学園大学音楽学部演奏学科入学。1994年第63回日本音楽コンクールヴァイオリン部門第3位入賞。1995年広島県民文化センターにてリサイタル開催。第8回ながのアспенミュージックフェスティバル・マスタークラスに参加、米国アспен音楽祭へのスカラシップを授与される。1996年コロラド州アспен音楽祭に参加。1996年第65回日本音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞。あわせてレウカディア賞・鷲見賞、海外コンクール参加奨励賞（黒柳賞）受賞。1997年桐朋学園大学音楽学部演奏学科首席卒業。皇居内「桃華楽堂」にて御前演奏する。桐朋学園大学音楽学部研究科に入学。第16回R. リピッツァ賞国際ヴァイオリンコンクール入賞、あわせて最優秀ソナタ賞受賞。広島国際文化財団より奨学金を授与される。NHK・FMリサイタル出演。1998年ケルン音楽大学（ドイツ）に入学。1999年安田生命クオリティオブライフ文化財団より奨学金を授与される。2000年、平成12年度文化庁派遣芸術家在外研修員に決定される。2002年ケルン音楽大学卒業、帰国。2003年広島県民文化センターにてリサイタル開催。NHKラジオ、RCCラジオ出演。第9回エネルギー音楽賞受賞。これまで、村上直子、多賀久三、辰巳明子、ザハール・ブロン各氏に師事。広島交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団他と協演。ながのアспен音楽祭、倉敷音楽祭等に出演。

●金子鈴太郎 (Vc) Kaneko Rintaro

1977年生まれ。4歳からピアノを、7歳でチェロを始める。桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。1996年第1回コンセル・マロニエ第1位、および特別賞受賞。1999年第6回国際ブラームス・コンクール（チェロ部門）第3位入賞。（オーストリア）2000年第9回カルロ・ソリヴァ音楽コンクール（室内楽部門）第2位入賞。（イタリア）1999年、2000年イタリア・シエナのキジアーナ音楽祭にて、名誉ディプロマ賞を受賞。ソロの他にも室内楽に意欲的に取り組み、ブダペストをはじめハンガリー各都市でソロ・室内楽のリサイタルを多数おこなう。バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに東京やハンガリーにおいて数々の世界初演をおこなう。2001年、ハンガリーで現代音楽専門のグループ『shyra』を結成。これまでに、チェロを宮田豊、升田俊樹、菅野博文、倉田澄子、チャバ・オンツァイ、マリオ・ブルネロ、ミクローシュ・ペレーニ、ジャン＝ギアン・ケラス諸氏に、室内楽を毛利伯郎、村上弦一郎、原田幸一郎、ヤーノシュ・デイヴィッチ、マルタ・グヤーシュ、カーロイ・ボトヴァイ等諸氏に師事。

●野田清隆 (P) 学生会員 Noda Kiyotaka

横浜市出身。12歳でピアノをはじめ。東京藝術大学を経て、同大学院修士課程を首席で修了。第4回かながわ学生音楽コンクール第1位。第64回日本音楽コンクール第1位。大学院修了時、クロイツァー賞、NTTドコモ賞を受賞。NHK-FM、日本シヨパン協会例会リサイタル、日本ブラームス協会例会の室内楽演奏会等に出演。東京交響楽団、神奈川フィル等と共演するほか、2001年には芸大奏楽堂で『20世紀音楽で綴る夜』と題したコンサートをプロデュース。また竹中工務店の『音響可変システム』のTV-CFにも出演している。現在、同大学院博士課程に在籍。学内ではブラームスと20世紀作品を組み合わせたプログラムによるリサイタルシリーズ『ブラームス・ツィクルス』を進行中。これまでピアノを浜口奈々、クラウス・シルデ、植田克己、フーガを野田暉行、室内楽を迫昭嘉、松原勝也各氏に師事。

●青木調 (Vn) Aoki Shirabe

名古屋と静岡にて、佐々木はるる、石田なをみ、故矢口由美子、故近藤フミ子の各氏に師事。1985年全日本学生音楽コンクール名古屋大会第1位。その後東京に移り、桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学ソリストディプロマコース修了。現在桐朋学園大学院大学2年在学中。1992年日本音楽コンクール第2位、併せて黒柳賞受賞。1995年日本国際音楽コンクール第2位。1996年文化庁助成による日演連主催のリサイタルを行う。以後東京、名古屋などにてリサイタルを行う他、NHK・FMリサイタルに出演。1998年オランダのヘルマン・クレバース氏の下へ短期留学。米国アспен音楽祭、宮崎国際室内音楽祭、京都フランスアカデミー、オランダ・ミュージックセッションズなどにおいて、アイザック・スターン、レジス・パスキエ各氏のマスタークラスを受講。オーケストラとの共演は、桐朋学園オーケストラ、桐朋アカデミー・オーケストラ、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団など。ソロの他サイトウ・キネンフェスティバル松本、倉敷音楽祭、大垣音楽祭、水戸室内管弦楽団、N響合奏団、富士山ろく音楽祭などに参加し、室内楽やオーケストラの活動を行う。現在、藤原浜雄氏に、これまでに、原田幸一郎、堀正文、宗倫匡、故久保田良作各氏に師事。

●梅津 美葉 (うめづ みよう)

3歳よりヴァイオリンを始め、12歳で初リサイタルを開く。カナダの名ヴァイオリニスト、ローランド・フェニヴェシュ氏に激賞され、バガニーニ：ヴァイオリン協奏曲のカデンツァを作曲、献呈される。1990年かながわ音楽コンクール総合第1位及び県知事賞受賞。1991年日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、黒柳賞、鷲見賞、E.ナカミチ賞受賞。1992年その優れた演奏活動により鎌倉市政功労賞を受賞。桐朋学園大学在学中の1996年10月渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院最上級演奏家ディプロマ過程（大学院）へ入学を許可され、異例の短期間で1997年3月、審査員全員一致の最優秀賞及び特別賞を得て卒業。同年、ノルマンディー音楽祭特別賞受賞。エコールノルマル音楽院長で、音楽評論家の故ピエール・ブチ氏からは「梅津美葉は素晴らしいヴァイオリニストというだけでなく、正しいセンスと大変高い技術でヴァイオリンを歌わせ、真の感動を与えてくれる、これまでに私が聴いた最も素晴らしい音楽家の一人である。」と賛辞を贈られた。これまで、江藤俊哉、H.クレバース、I.ギトリス各氏に師事。室内楽をG.マルティニ女史に師事。